

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成28年7月1日

施設名	のいち動物公園	所管課	土木部 公園下水道課
-----	---------	-----	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	(公財)高知県のいち動物公園協会	指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
施設所在地	高知県香南市野市町大谷738		
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園の利用許可及び利用料金の徴収 2. 公園の施設及び物品の維持管理 3. 公園の設置目的を達成するための企画及び実施 4. 動物の飼育と展示 5. 種の保存、自然保護、調査研究 6. 県民やボランティア等との協働事業の推進 7. 公園に関する要望及び苦情の処理 8. 緊急対応体制の確立 9. 清掃及び植栽管理 10. 警備業務 		
施設内容	<p>【公園全体】 面積: 19.9ha 開館時間: 9:30～17:00 休園日: 月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月27日～1月1日 入園料: 大人460円(年間1,540円) 18歳未満・高校生以下・高知県長寿手帳を持参の方は無料</p>		
職員体制	常勤職員: 26人 非常勤職員: 10人 契約社員: 5名 合計: 41人		

「職員数は平成28年4月1日現在」

2 収支の状況

単位: 千円

		平成26年度(決算)	平成27年度(決算)	平成28年度(予算)
収入	県支出金	381,980	381,056	384,190
	使用料・手数料	22,184	25,071	25,092
	その他	1,409	1,771	2,407
	収入計 (a)	405,573	407,898	411,689
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	206,863	178,594	180,389
	人件費	204,439	229,304	231,300
	その他	0	0	0
	支出計 (b)	411,302	407,898	411,689
収支差額 (a) - (b)		△ 5,729	0	0

3 利用状況

	平成26年度(実績)	平成27年度(実績)	平成28年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	147,218	169,485	160,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等) 入園者が多いイベント開催時や、ゴールデンウィークや夏休み期間に、手渡しによるアンケートを実施。 1回あたり数十～100件近くのアンケート回収している。		
	○ 利用者意見等を踏まえた対策 アンケートを良い点・要望・苦情などに分類し職員間で共有するとともに要望や苦情については管理運営に反映を行っている。 要望に対して、授乳室を2つに仕切りプライバシーに配慮を行うとともに、混雑時の入園をスムーズにするためベルトパーテーションの導入などを行った。		
	○ その他 第三者機関「のいちの風委員会」の開催により、動物公園のPR方法、認知度を上げる方法等について提言をいただき、ホームページを改善し見やすくなったと評価された。		
③その他特記事項			

4 平成27年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	開園日の設定について、利用者サービス向上のため、日曜と祝日に挟まれた定休日開園や、開園記念日の無料入園、閉園時間を延長した夜の動物公園の実施など、柔軟な対応を行っている。 清掃は園内のすみずみまで行き届いており、来園者からの評価も高い。 近年様々な動物種で新規導入が難しくなってきたため、動物の繁殖を強化しており、今年度はグラントシマウマやフタユビナマエモノなどの繁殖に成功するなど、17種153頭を生育し、動物園の役割の一つである「種の保存」を果たしている。
②利用者サービスの維持向上	事業計画に基づいて適切に行われている。 ハシビロコウの新個体搬入を記念し、個体の出身国であるタンザニアにスポットをあてた「タンザニア展」を開催するなど、年間企画イベント60、月間企画イベント10、展示企画イベント6の計76企画イベントを実施。 視覚障害の方を対象に、標本等を用いて職員が解説を行うさわる動物園の実施や、近隣観光施設との連携など利用者層の拡充に向けた取り組みを行っているところは評価できる。 また、中学生・高校生の職場体験や学芸員資格の博物館実習等の受け入れ、教育用標本貸出、子ども科学図書館などでの園外講演など、幅広い年齢層を対象とした教育普及活動を継続的に行っている。
③利用実績	昨年度の入園者数は大幅に増加し、前年度比115%の16万9千人となった。これは平成15年度の17万2千人に次ぐ入園者となっている。 入園者数は天候に大きく影響されるが、今後も積極的なPR活動を継続し、入園者数の増加に努めてもらいたい。
④収支の状況	経費節減に努める一方、入園者数が増加したことで入園料も前年比で268万円の増加となっている。
総合評価	A 協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が適正に実施されたと認められる。 職員が美観意識を持ち、きめ細やかな清掃を行うなど美観を保つ取り組みを積極的に行っているところは評価できる。 近隣観光施設と連携してイベントを実施するなど、利用者の増加に向け多くの取り組みを行った成果が入園者数の大幅増加に繋がったものとする。 県内だけでなく県外から集客を増やす取り組みも行っており、今後も継続して利用者の増加に努めてもらいたい。

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの